

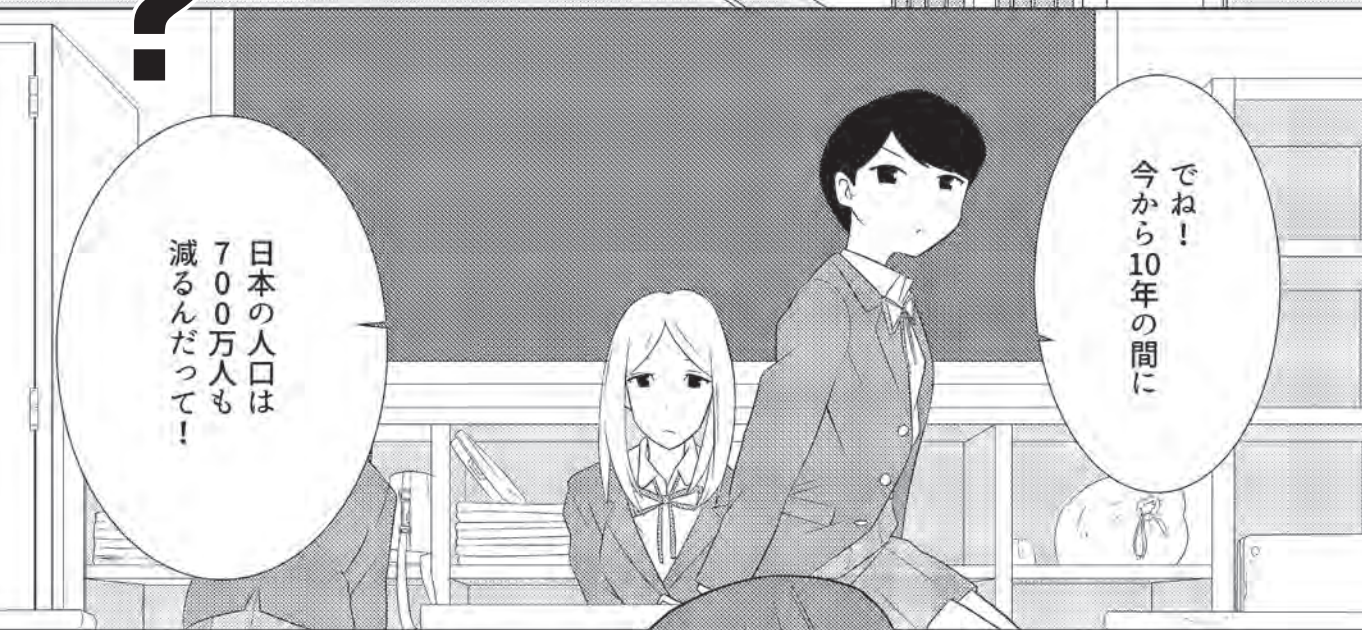
国に届け

Vol.2

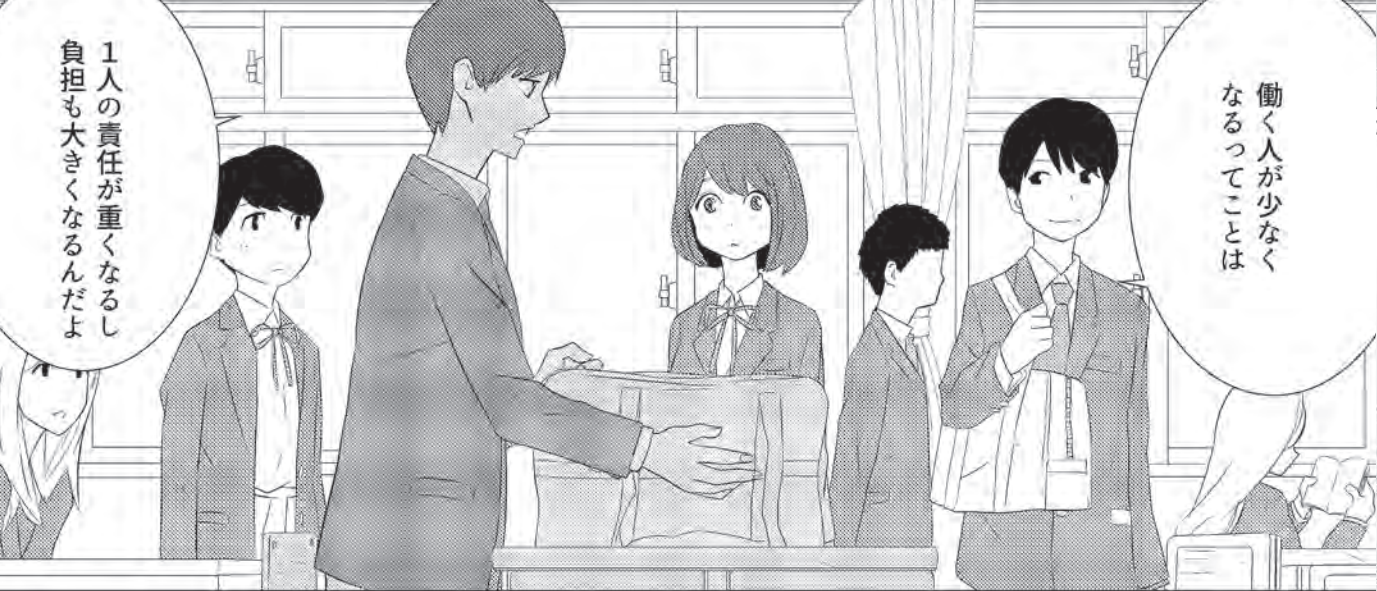
— 日本には若い力が必要です —



私たちの未来は 明るい？



※ここでは合計特殊出生率(一人の女性が生涯に産む子供の平均数)のこと



1人の責任が重くなるし
負担も大きくなるんだよ

働く人が少なくな
るってことは



詳しい数字まで
知らなかった!

最近アスカ
そういうことに
詳しいよね!

アスカ!!



例えば

年金制度を支えるための
金銭負担だったり、
経済成長を維持するために
働く時間が増えたり...



極端な話してるな...

おはよう



おじいちゃん
おばあちゃんが
長生きするのは
嬉しいけどね

赤ちゃんが
生まれなかったら
働く人も少なくな
るんじゃない?



負けてられない!

いやいや!
私も最近
少しは勉強
してるんだ!



なるほど!

さすが浅倉くん!



浅倉くん!
佐藤くん!



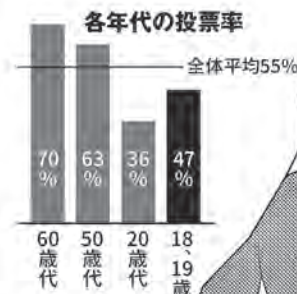
広いオフィスに
1人とか...?

忙しいね...

確かに
2016年の
参議院選挙の投票率

18、19歳はおよそ47%
20歳代は36%で
全体平均55%に
比べて低い！

50歳代は63%
60歳代なんて
70%なんだよ



出典：総務省HP・参議院議員通常選挙における世代別投票率の推移

少しずつ若者の声も
届いていて、経済的な問題で
進学を諦めることを
なくすため

給付型奨学金を
本格的に2018年度から
開始することに
決まったんだ。

→P9

そうなんだよね！

選挙に行ってから
変わったな

へっへっへ！

私たちの年代も
案外頑張ってるね！

ね！

でも年代別に投票した
人数を比べると
18〜27歳までと60〜69歳では
2.9倍も差があるんだよ！



※総務省HP・第24回参議院議員通常選挙年齢別投票者数調のデータをもとに計算

政治に参加する若者が
少ないと国も動くのは
難しいと思うけど

参加する人が増えて
声が大きくなれば
国だって
若い人たちのために
動いてくれるよ！

確かにな

あつね！

アスカ

安田は

？

どういう未来がいい？

うーん…

Close-up LDP

自民党はまっすぐに
若者の未来を見つめています

Q1 大学で勉強したいのですが、学費が足りるか心配です。…… P 9

Q2 私たちの世代でも年金は受け取れますか？…… P10

Q3 ブラック企業やブラックバイトが問題になっていますが？…… P10

Q4 “景気回復はまだ”と聞きますが、私たちの就職は大丈夫？…… P11

Q1 大学で勉強したいのですが、 学費が足りるか心配です。

A 返済不要の給付型奨学金制度を創設、
貸与型には収入に応じた返還制度を
導入、最低月額2,000円とします。

NEW

給付型奨学金

制度を創設します

非課税世帯で一定の学力・資質要件を
満たす学生が給付の対象

月額
2万円
～
4万円

平成30年度から支給
一部は29年度から先行実施

参院選での
公約をもとに
安倍総理に
提言し、実現



返済の必要あり

貸与型奨学金

負担軽減策を大幅に拡充します

在学中

無利子奨学金

低所得世帯の学生を対象に平成29年度から
成績基準を撤廃するなど、適用範囲を拡大

卒業後

所得連動返還型奨学金制度

変換月額が所得に連動する制度で、
従来は一律14,400円(私大生の場合)でしたが、
年収により2,000円からでも可能に

有利子奨学金の貸与利率 下限引き下げ

下限0.1% ▶ 0.01%
(従来) (見直し後)

POINT

最近の調査によると、大学生(昼間部)の51.3%が何らかの奨学金を受けていま
す。(独立行政法人日本学生支援機構「平成26年度学生生活調査」)

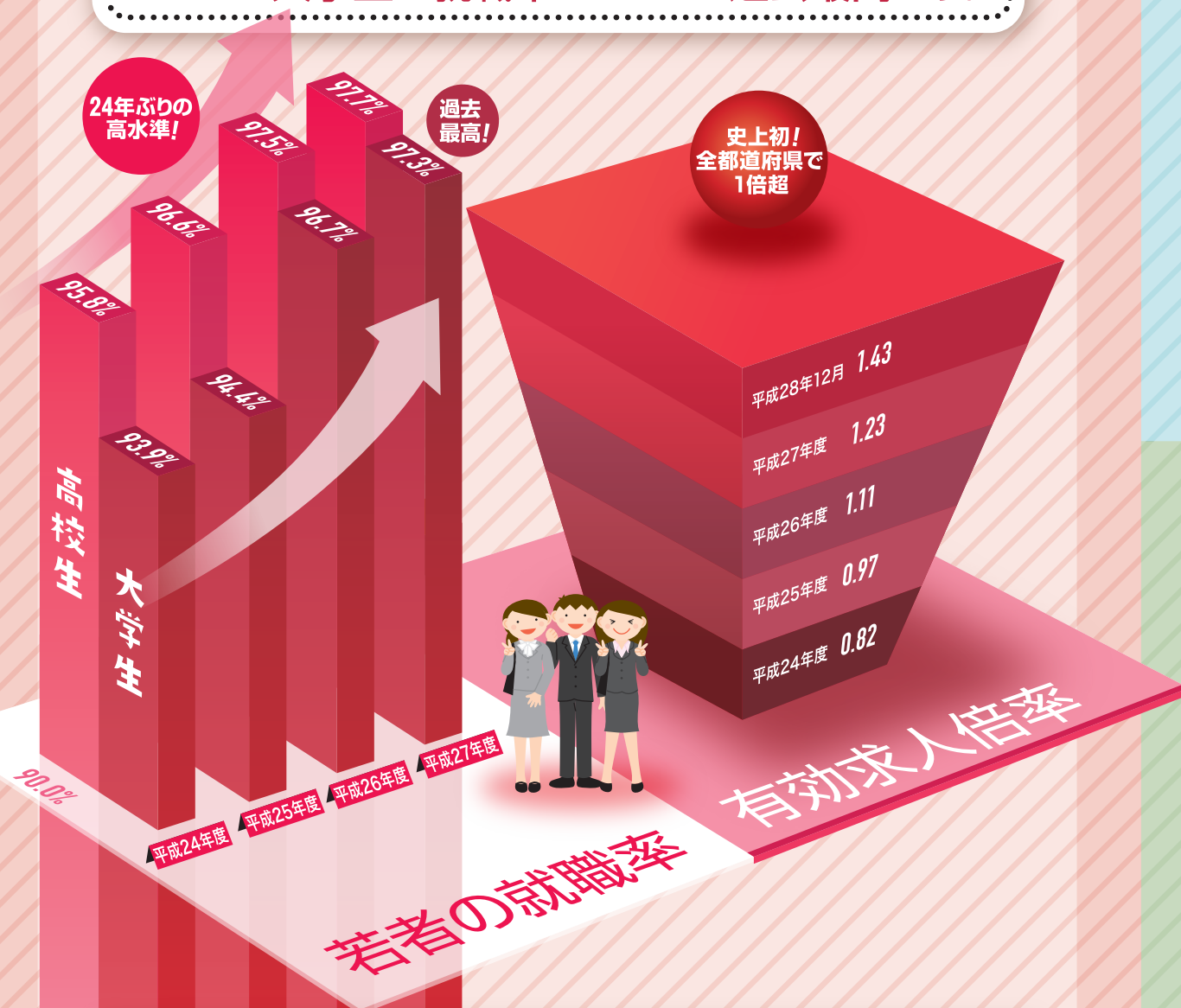


Q4

“景気回復はまだ”と聞きますが、私たちの就職は大丈夫？

A

アベノミクス効果で雇用は大幅に改善、有効求人倍率は右肩上がり続け、大学生の就職率は97%と過去最高です。



POINT

アベノミクスの取り組みによって、安倍内閣が発足した直後の平成25年度からの4年間、求職者一人あたりに企業から何件の求人があるかを示す「有効求人倍率」は右肩上がり続けています。28年には、史上初めて全国47都道府県すべてで1倍を超えました。つまり、仕事を求める一人につき、仕事が少なくとも一つ以上あるという状況になっているのです。

また、この数年、若者に対する企業の採用意欲が高まっており、28年春に卒業した大学生の就職率は97.3%と平成9年度の調査開始以降で過去最高、高校生の就職率も97.7%と24年ぶりの高水準を維持しています。

Q2

私たちの世代でも年金は受け取れますか？

A

皆さんの将来の年金を確保するため、改革を行いました。さらに、より多くの方が年金制度のメリットを受けられるようにしました。

若い世代の給料が下がっている場合は、これに合わせて高齢者の方々への年金支給額も改定し、世代間の公平性を図ります。

若い世代が将来受け取る年金を確保

大企業ばかりでなく、中小企業などでパートタイマーとして働く方々も労使合意により、厚生年金や健康保険に入れるようになります。

厚生年金も受給し、老後の年金を手厚く

年金の受給資格を得るため最低限必要な保険料の支払期間を、25年から10年に大幅短縮。将来にわたり無年金となる人を救済します。

新たに約64万人が年金の受給資格取得



Q3

ブラック企業やブラックバイトが問題になっていますが？

A

若者が安心して働ける社会にするため、通称「かとく」の設置などによる監視強化や時間外労働の上限設定を進めます。

厚生労働省に長時間労働の問題を専門に扱う「過重労働撲滅特別対策班」(通称かとく)が発足、ブラック企業の監視を強化しています。

強い調査権限を持ちすでに何件も摘発

党内に「働き方改革に関する特命委員会」を設置、時間外労働の上限を設定し、違反企業には罰則を科す方向で検討を進めています。

長時間労働の慣行を断ち切る！

出産・育児で離職した女性が再就職しやすい環境を整えたり、子育てや介護と両立しやすいテレワークなどの推進に努めます。

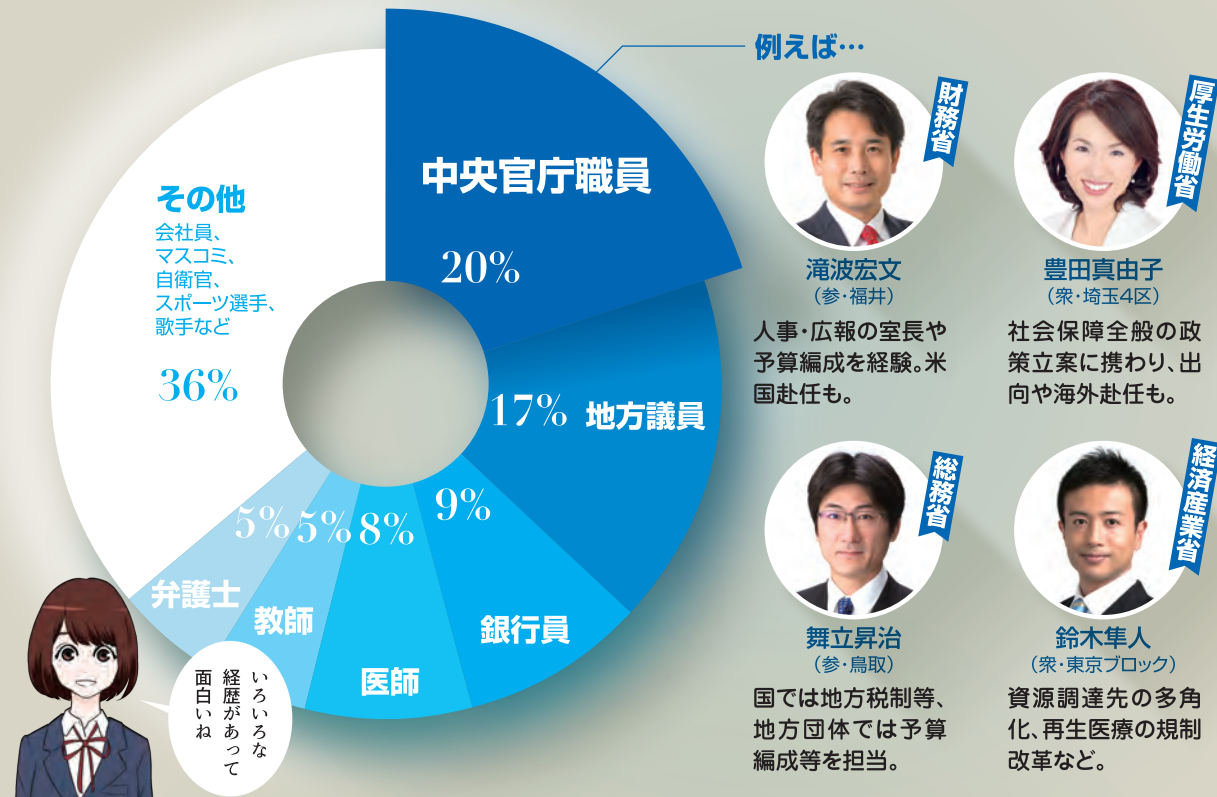
女性の活躍を支援し柔軟な働き方へ

青年局国会議員大解剖!!

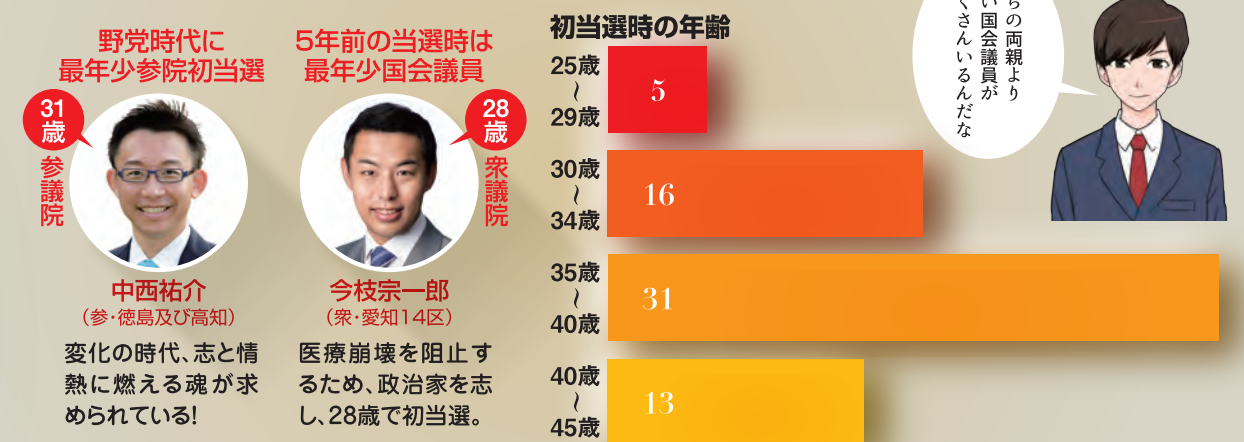
45歳以下の国会議員65人からなる自民党青年局*。今回、そのメンバーを対象にアンケートを実施しました。失敗談から意外な資格ホルダーまで、次世代を担う国会議員の実態やいかに?!

※45歳以下で衆議院議員当選3回以下・参議院議員当選2回以下の国会議員で構成されています。

私たち、国会議員になる前はこんな仕事していました



私たち、初当選時は〇〇歳でした



私たちだって、失敗することがあります



私たち、こんなことを教えられます





イマドキ大学生が青年局議員とまじめにトーク

どうなる？
ニッポンの
未来

人口減少社会は リスクかチャンスか

2015年の国勢調査では、調査開始以来初めて日本の人口が減少に転じ、2050年には1億人を割るという推計もあります。では、迫りくる「人口減少社会」はこれから社会人となる若者にとってリスクになるのか、それともチャンスにできるのか——大学生の皆さんと青年局国会議員のメンバーに、熱く語り合ってもらいました。
司会担当は加藤鮎子衆議院議員です。

人口減少をチャンスに変えるには

加藤 今日はリラックスした雰囲気できましょう。人口減少はリスクかチャンスか、まずは学生の皆さんから意見をいただけませんか。

野村 「少子高齢化」「人口減少」という言葉は日々聞きますが、僕には今ひとつピンときません。本当に日本の人口がそんなに減っていくのか、またそのことで日本にどんな影響があるのでしょうか。

鈴木 私の選挙区（横浜市北部）では毎年5000人ぐらいずつ増えているのですが、首都圏と一部の地域を除いて、全国のほとんどの府道県で人口が減っているのは確かです。日本の中でも差があるんですね。一方、世界中から人が集まっているアメリカはほとんどの州で人口が増えている。ただヨーロッパや日本などの先進国や韓国、台湾などアジアの一部の国では、今後、相対的に少子高齢化が進み、人口が減少していくのは避けられません。

「人口減少社会」は、高齢者を支える働き手世代の割合が低下するわけですから、国の財政や経済活動にとってリスクになるし、当然ですが人口が減るよりは増えたほうがいいとは思いますが。ただし減ったからこのま

私は、とくに若いうちはいろんな生き方があっていいと思う。10代で起業する人もいれば、大学卒業後すぐに就職しないという選択もあり得るし、転職や学び直しも当たり前です。政治や社会が用意した一つの生き方に個人が合わせるのではなく、一人ひとりのチャレンジを政治がサポートしていくようにしたい。

前原 私たち世代は、「ゆとり世代」と以前言われて、いまは「さとり世代」（笑）。欲がないのが特徴なんです。が、あいにく私は違うのでチャレンジを応援していただけるのならありがたい。ただ、地元の群馬県に帰るたび気になるのがシャッター商店街なんです。

田畑 私は、学生の皆さんがそうした問題を考えてくれていること自体、立派なことだと思う。若いころは国や地域と自分の関係って何だろうと悩む時期でもあるけど、自分さえよければいいといった思考に陥りがちですから。

それと精神論に聞こえるかもしれませんが、人口減少や地方の過疎化に立ち向かうには、逆境だからこそプラスに変えてやるというマインドが大事だと思う。現在の産業を支えているのは昭和30年代、40年代に起業された人が多くて、当時はいま

ま日本はダメになるかという、決してそうではありません。

たとえば、現在の日本にある1億2000万個の頭脳がフルに活躍できているかといえば、そうではない。現在の経済社会システムを抜本的に見直し、国民一人ひとりがフルに活躍できるようにすれば、むしろチャンスに変えられると思います。

野村 僕も人口が減ることを嘆いてばかりだったって前に進めないと思う。

でも、そのためにどんな環境をつくらばいいとお考えですか。

村井 いま自民党では、若手議員で「2020年以降の経済財政構想小委員会」を立ち上げ、これからの働き方や社会保障制度のあり方を若手有識者の方々と議論しながら探っていくところですよ。

その小委員会が、今年（2016年）4月に発表した中間報告のタイトルが「ルールからの解放」。これまでは、

新卒で会社に入って60歳まで過ごし、定年後は余暇を楽しむといった1本のルールがあり、それに合わせた終身雇用や国民皆保険、皆年金の制度がうまく機能してきました。しかし「人

生100年」と長寿命化する日本においてその制度は、65歳を超えて元気に働く意欲のある高齢者はもちろん、仕事と子育ての両立に悩む女性、転職や学び直しを望む若者などの多様なニーズに応えきれいていません。

よりアナログでお金もないし、周りにビジネスモデルもない。度胸と情熱だけで頑張ってきた、その集積がここまで日本経済を支えてきたわけです。皆さんも、私たちと一緒に未来を切り拓いてほしい。

もちろん、単純に人口が少ないと労働力としてのマンパワーが不足し、コミュニティの運営すら難しくなるでしょうから、政治が何らかの手を打つ必要があります。たとえば、今後AI（人工知能）を搭載したロボットを重点的に投入することなども含め、地方の支援を強化することが必要です。

加藤 私も地方出身（山形県）なので、



ともに協力していきましょう。

教えて！年金問題、働き方改革

加藤 ところで、これまで若者はあまり年金問題に関心がないと思われるかもしれませんが、最近は気になる人もいますよね。

薬師神 僕たちは保険料をこれから納めていくわけですが、友人の中には少子高齢化が進んで年金財政がパンクして、自分が65歳になったとき年金なんかもらえないわけがないという人がいます。僕自身も、もらえないかもしれない年金のために何で保険料を払う必要があるのか、と少し疑問を感じているのですが。

村井 結論からいうと、国がやっている公的年金は100%もらえます。というのも、保険料を取って給付する単純なしくみですから、保険料と給付の水準を改定すれば制度は維持できる。

国民年金といわれる基礎年金は、民間の生命保険会社のどの商品より利回りがいい。なぜかというと、皆さん方が納めている保険料に対して同額の税金が投入されるからです。考え方としては、自分が払った分と国からの税金分が合算のうえ運用されて、それが将来戻ってくるという

も、規制や取り締まりを強化していくべきです。

出産後、仕事を続けてキャリアを守りたいという女性の方の思いも十分理解できます。政府はいま、待機児童の受け皿づくりを自治体と協力して一生懸命やっていますが、首都圏に若い方がたくさん流入してきて、供給が追いついていないのが実態です。2歳児までの待機児童が2万人以上発生しているの、それはゆゆしき問題ですから、いろいろな政策を組み合わせてながらスピーディに対応し、働きながら子育てする女性やその家族を一人でも多く応援していきたい。

鈴木 いまの日本にとって、もっと



村井英樹 (36歳)
2020年以降の経済財政構想
小委員会事務局長・埼玉1区



加藤鮎子 (37歳)
学生副部長・山形3区

イメージ。これほど恵まれている保険商品はありません。

さらに会社に入ると厚生年金に加入しますが、これも被保険者と事業主が半分ずつ保険料を負担するので、皆さんが必ず得になるように設計されているのです。

野村 でも、このまま平均寿命がどんどん上がって給付額が膨れ上がると、自分たちが年金を受け取れるとしても70歳以降からになるんじゃないですか。

鈴木 正直、それはあり得る。ただ平均寿命が延びるということは、健康寿命も延びる。つまり、働きたい人がより長く働けるチャンスが増えると思うんですよ。実際、運動能力

も悩ましい現象が少子化です。影響の一つは国内のマーケットの縮小。これはTPPなどで対応するしかない。もう一つは国内での働き手の不足。その答えは3つしかありません。

それは女性、高齢者、外国人。その中でいちばん優先して取り組むべきなのは女性の活躍。働きたい優秀な女性はたくさんいるのに子育てなどで仕事を離れねばならない状況が続いています。硬直した雇用体系の是正や待機児童問題など政権の最重要課題だと思っています。

加藤 4歳になる息子のママである私にとっても、これは身近な問題ですよ（笑）。

将来は「海外へ」故郷に貢献：

加藤 今後の進路については、どう考えていますか。

酒井 私が通う大学は女子大で、母親もOGという人が多く、少し前まで卒業近くになると婚約指輪をしている人が80%。就職せずに花嫁修業をして結婚するのが普通でした。いまは家を出て就職したいという学生も多いけど、親の反対があったりして。そこで日本にずっといるより海外へ行っちゃおう、という人も増えて、実は私もその一人です。なぜなら日



前原茉莉 (23歳)
東京都在住・群馬出身



野村有希 (22歳)
東京都在住・都内出身

を見ると、いまの65歳の方たちは昔の55歳と同レベルの数字を示している。人間ってどんどん進化しているから、早くリタイアして年金生活が長いより、長く活躍できる社会という選択も悪くないんじゃないかな。

酒井 学生なので年金は払っていないし、年金への不安なんて私は考えたことがありませんでした。

薬師神 僕は春から金融業界で働く予定ですが、そう考えたのは、リタイア後に十分なお金がないと困ると思ったから。働いて稼いだお金を自分で運用できれば、年金だけに頼らないで老後を送れるのではと、その勉強ができる証券会社に決めました。

加藤 同じ世代でもいろいろな考え



本では同じ会社において地位や権限はなかなか上がらないけど、アメリカは転職するとキャリアアップできる。それにアメリカではバイトだけで生活する人も多い。反対に、ずっと日本にいたいと思えるような仕事があれば教えてほしいくらいです。

村井 その問いへの答えは1回海外に出てみたら、ということだし、日本の魅力はあると思います。私は財務省当時、ハーバード大学に2年間いたけど、韓国や中国の留学生はそのままアメリカで就職する人がいるのに、日本人はほぼ全員が帰っていく。



薬師神亮太 (23歳)
茨城県在住・千葉出身



鈴木馨祐 (39歳)
青年局長・神奈川7区



酒井 瞳 (21歳)
東京都在住・栃木出身



田畑裕明 (43歳)
学生部長・富山1区

電車は時間通りに来ないし、地下鉄は汚い上に、いつ怖い人に脅されるかわからないし、仕事はいつ辞めさせられるかわからない。それに比べ日本は、いろいろなものが機能的で、清潔で安全。ほとんどの職場の環境は安定しています。トータルで考えると恵まれているんじゃないかな。

田畑 日本型の年功序列人事や新卒一括採用といった慣行は、世界にはほとんどありません。日本独自のもので、その結果、同期や仲間との関係を重視するようになるなど、当然その良さもあります。ただ、これから外国人の方が入ってくると、労働環境の流動化は避けられないでしょうね。

それと「人生100年」だとしたら、成人までの20年と晩年の20年を引いた残りの60年間で働くことができる時間となる。のびしろは増えるし、いまの労働環境を進化させないといけない気がします。海外へ行かれるのいいと思いますよ。だいたい隣の芝は青く見えるものですが、チャレンジしてみるのには大事です。

加藤 ほかに何かアドバイスが欲しい、という方はいますか。

薬師神 先ほどお話ししたように、来年から証券会社で働くわけですが、僕にはファンドマネージャーになりたいという夢があります。昨年ベト

ナムのインターンシップに行ったとき、現地の人に「君は日本人なんだろう。何かして俺たちの生活をよくしてほしい」と言われたんです。そこでいろいろ頭を巡らせて、茨城県産メロンの海外輸出を始めたばかりのベンチャー企業を、いづれファンドマネージャーとして援助ができればいいなと。

田畑 やりがいのある仕事ですし、ぜひ頑張ってください。一言アドバイスさせていただくと、殻に閉じこもらないで、金融の世界で活躍している方とどんな接点を持ち、多くの同業の方と年代を問わず交流の機会を持つよう、心がけていただきたい。出会いの中で道が切り拓かれていくんじゃないかと思うので、積極的に自分で会いに行くのが大事でしょうね。

鈴木 日本には各地にいいモノやアイデアがあって、お金を出したい投資家も多い。でも、両者をつなぐ人がいない。だから、薬師神君はいい目利きになってください。ファンドマネージャーは最高に面白い仕事だと思いますよ。もう一ついうと、日本で活きたカネの流れができない大きな理由は、みんなリスクを取りたがらないから。もし景気が悪くなったらどうしようと、いつも二の足を

踏む。これまでの終身雇用制の弊害で、これも変えなきゃいけない。

無理なんだというあきらめの感情が支配していることです。今回、全国の低所得世帯の高校生向けに給付型奨学金の制度が創設されると聞きましたが、極めて成績優秀な生徒に限られていて、僕の教え子の多くはその対象となり得ません。

前原 私も春から繊維関連の商社で働く予定です。前のお二人と違って、私はいづれ群馬に帰るつもりです。そのときは何か地元のために還元したいと思っていますので、地場産業と関係の深い業種を選びました。

田畑 誰がなんと言っても、愛着のある自分の故郷がいちばんいいですからね。外国へ出たとしても、日本のよさを愛着を持って語れるような日本人でいてほしいと思います。

政治に期待することは

加藤 ここからは、学生の皆さんが政治に対し、日頃感じていることがあったら教えていただけますか。

野村 日本の未来の主役は、子供たちだと思います。僕はいま、大学を休学して低所得家庭の子供のために、主に無料学習会を開催するNPOで活動しているんですけど、その子供たちに貧困、教育機会の格差の問題が降りかかっている。

そこで彼女らを見ていて思うのは、将来への希望が持てずに不安を抱えていたり、どうせ自分たちは

充実も、公教育の充実も大事だと思う。とくに子供たちの学力の土台をつくり、学ぶ意欲を育てるためには、公立小中学校の学校間競争が大切です。例えば学区を広くすればいい学校はもっとよくなるし、ダメな学校

は頑張ろうとなるんです。

とにかく、子供たちについては家庭の事情に関係なく学びのチャンスがある、それが大事だと思います。

実は、政治がどこまで関わるかも大きな問題。なぜかという政治が

何かをするために使うお金は、頑張っている人が納めた税金なんです。だからこそ、「頑張れない」人には応援すべきだけ、「頑張らない」人には出すべきではない。教育や福祉や介護、医療費などを含めてその使い方には哲学がないといけないし、しっかり線引きしないとばら撒きと言われてしまう。

前原 私たちが育ってきた20年は、地方には希望が持てないから東京へ、日本だと未来が見えないからとりあえず海外へという時代で、ひたすら経済的なメリットを追い求めて競争するように教育されてきました。でも、お金やステータスがあることだけが是とされる社会で果たしていいのかと最近考えてしまう。そして、環境のせいでそうした競争のスタート台にすら立てないような子供たちの未来に、政治家の方々も目を向けていただければ。

村井 たしかに、機会の平等が担保されない時代になってきた実感はありますね。社会が安定してくると、社会階層が固定化されやすい。たとえばハーバード大学は、美男美女の金持ちが行く学校という感じになっている。昔の東大生は貧しい地方出身のガリ勉だったけど、いつのまにか、親の平均所得が一番高い子供が行く大学になってきた。機会の平等

無理なんだというあきらめの感情が支配していることです。今回、全国の低所得世帯の高校生向けに給付型奨学金の制度が創設されると聞きましたが、極めて成績優秀な生徒に限られていて、僕の教え子の多くはその対象となり得ません。



※この座談会は平成28年12月6日に自民党本部にて行われました。

をこれまで以上に担保して政治をやっていかねばと改めて感じました。ただ、鈴木局長も言ったように、政治は基本的には税金を基にしている。世の中全体のバランスを取りながら、やっていかなければならない点をご理解いただきたい。

今日はお二人の話を聞いていて、高邁な理想があることがよくわかりました。野村さんには貧困家庭の子供を救いたい、という目標がある。前原さんには経済だけの指標でいいのか、という強い思いがある。それをぜひ、これから社会に出て人生の中でどういう形かわからないけど、発信して少しでもその理想に近づけてほしいと思います。

田畑 安心してください、自民党議員がみんな東京一極集中を推し進めたり、経済至上主義を標榜しているわけではありませんから。いろいろな考え方を基に、いろいろなアプローチをしているのが実態です。私も街づくり系の仕事が好きで、政治の世界に飛び込みました。人口減少社会の中で地域の彩りや特色に合わせた街づくりをやっていくことが何よりも大事だと思っています。

加藤 本日は皆さんに忌憚ないご意見をいただき、大変参考になりました。ありがとうございます。